

あきる野市 議会だより

平成21.11.1

NO. **573**

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



秋川体育館「親子のびのび開放事業」(東京都立秋留台公園にて)

第3回(9月)定例会

平成20年度決算認定 P4

- **審議結果**
提出された議案を慎重に審議…………… P 2
- **一般質問**
聞いてみたいな、こんなこと(質問者17名)…………… P 6
- **あきる野ウォッチング**
10年間ありがとうございました。…………… P 18

本会議の様様をインターネットで配信中

くわしくは17頁をご覧ください

再生紙を使用しています

平成21年9月

定例会の概要

9月定例会は、9月1日に開会し、9月25日まで25日間の会期で行われました。定例会初日の1日から3日までの3日間で17名の議員による一般質問が行われました。

4日には、市長から提出のあった議案を審議し、補正予算等の議決をするともに、その他の議案や陳情の委員会付託を行いました。

8日・10日・11日の3日間は、常任委員会が開催されました。8日には総務委員会、10日には環境建設委員会、11日には福祉文教委員会の各常任委員会が開催され、総務委員会及び福祉文教委員会は、付託された議案等の審査などを行い、また、環境建設委員会には付託された議案等がなく所管事務調査を行いました。

15日・16日には、決算特別委員会が開催され、平成20年度の8会計についての歳入歳出決算が審査されました。

最終日の25日には、総務委員長と決算特別委員長の委員会審査報告などを受けて、質疑・討論の後、採決が行われました。

9月定例会で決まったこと

市長提出議案（19件）

「投票の結果、全員の賛成で同意」

○あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任について

あきる野市固定資産評価審査委員会委員影山守彦氏は、平成21年11月9日をもって任期満了となり、引き続きあきる野市固定資産評価審査委員会委員に選任するため議会に同意を求めるものです。任期は、平成21年11月10日から平成24年11月9日までとなります。

○あきる野市教育委員会委員の任命について

あきる野市教育委員会委員古田土暢子氏は、平成21年10月27日をもって任期満了となり、引き続きあきる野市教育委員会委員に任命するため議会に同意を求めるものです。任期は、平成21年10月28日から平成25年10月27日までとなります。

【全会一致で原案を可決】

○あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律（平成21年法律第9号）の施行に伴い、規定を整備するものです。

○あきる野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律（平成21年法律第9号）等の施行に伴い、規定を整備するものです。

○あきる野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部を改正する政令（平成21年政令第139号）の施行に伴い、出産育児一時金の支給額を改めるため、規定を整備するものです。

【賛成多数で原案を認定】

○平成20年度あきる野市一般会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市戸倉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

【全会一致で原案を認定】

○平成20年度あきる野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○平成20年度あきる野市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

*歳入歳出決算額等の詳細は、4・5頁をご覧ください。

【全会一致で原案を可決】

- 平成21年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)
- 平成21年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成21年度あきる野市老人保健特別会計補正予算(第1号)

- 平成21年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成21年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

- 平成21年度あきる野市受託水道事業特別会計補正予算(第1号)
- *補正予算額については下表をご覧ください。

議員提出議案(1件)

- 【全会一致で原案を可決】
- 地方自治体が住民生活を守るための予算執行を求める意見書

陳情(3件)

- 【賛成少数で陳情を不採択】
- 「るのバス」の改善を求める陳情

- 秋川3丁目4番地の新都市建設公社用地に予定されている「あきる野複合施設新築計画」(温浴施設)の建設・運営が近隣住民に十分配慮した形で行われるための指導を求める陳情

【継続審査】

- 細菌性髄膜炎ワクチンの公費助成に関する陳情

その他報告事項(2件)

- 平成20年度決算に基づく健全化判断比率について
- 平成20年度決算に基づく資金不足比率について

平成21年度 補正予算額

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	282億0630万4千円	△2080万8千円	281億8549万6千円
特別会計	国民健康保険	3億3154万3千円	88億5671万9千円
	老人保健	3167万9千円	4239万3千円
	介護保険	1億0598万4千円	41億6302万1千円
	下水道事業	△1437万5千円	45億1000万0千円
	受託水道事業	△574万4千円	9億2585万6千円



ソバの花

平成20年度決算を認定

平成20年度の8会計の歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月15日・16日の2日間にわたり、審査を行いました。

決算特別委員会では、活発な質疑や議論を行い、慎重な審査の結果、一般会計決算及び7件の特別会計決算をすべて認定しました。

決算特別委員会による2日間の審査の後、最終日である9月25日の本会議において、決算特別委員会の委員長が審査報告を行い、その報告を受け討論が行われた後、平成20年度の8会計の歳入歳出決算の採決が行われ、8会計すべての決算が原案どおり認定されました。

対する討論



反対

日本共産党 あきる野市議団

平成20年度の法人市民税は、倒産や業務縮小で大幅に減少。個人市民税は税源移譲によりわずかに増えているが、個人収入は減っている。市民のくらしや福祉、教育最優先に税金を使うべきである。

学校の耐震化事業が進められたことは一部前進である。しかし、市民健診の予算は縮小し、寝たきりの方のオムツ代助成はたった5千円、るのバスはいまだに1台のまま。介護保険の軽減策もなし。教育予算も大きく削られた。市民からも「生活が大変で、生きていくのがつらい」などの声が寄せられている。

一方、「瀬音の湯」の借金返済は、毎年5800万円。土地開発公社の問題では、利子だけで1億4702万円を計上。さらに「郷土の恵みの森構想」として4億6200万円の借金をした。そもそも国や東京都の指導で始められた事業であり、国や東京都にお金を出させるよう努力すべきである。

以上申し上げ、認定に対する反対討論とする。

賛成

志清会

平成20年度は、法人市民税や各種交付金が軒並み減収となり、大変厳しい財政運営を強いられたが、施策の重点化が図られ、限られた財源を効率的に配分していると評価する。

財政指標では、経常収支比率が101.3%と前年度比で0.8ポイント改善。公債費比率も0.1ポイント改善したほか、長年の懸案であった土地開発公社の経営健全化についても、「郷土の恵みの森構想」により、飛躍的に改善される見通しが立ち、大変評価する。

また20年度には「市民と協働のまちづくり」として「防災・安心地域委員会」が設置されたほか、「小中学校の耐震化」も進められ、市民の安全・安心に配慮する取り組みが着実に進んだ。

今後「環境都市あきる野」の実現に向け、市民と行政が一体となってこの難局を乗り越えること、そして行政の徹底した行財政改革の推進、事務事業の見直しによる経常経費の抑制・財源確保を期待し、志清会としての賛成討論とする。

決算特別委員会を設置

平成20年度歳入歳出決算を審査

平成20年度 歳入歳出決算額

会計別	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引残額 (翌年度繰越)
一般会計	275億6489万9000円	263億9633万3104円	258億2054万6342円	5億7578万6762円
特別会計	国民健康保険	80億8410万4000円	84億0737万4892円	4億9455万5542円
	老人保健	6億4054万4000円	4億9483万5606円	3092万2365円
	後期高齢者医療	11億1586万9000円	10億5405万2975円	10億1531万8833円
	介護保険	40億5297万8000円	40億5336万6802円	39億5998万0404円
	戸倉財産区	1470万2000円	1650万0166円	716万3009円
	下水道事業	58億6151万2000円	58億5922万8694円	58億2009万9673円
	受託水道事業	9億6072万7000円	9億2583万1414円	9億2583万1414円
	計	207億3043万6000円	208億1119万0549円	201億0512万5924円
合計	482億9533万5000円	472億0752万3653円	459億2567万2266円	12億8185万1387円

一般会計決算に

賛成

公明党

本市の財政は、財政健全化法の指標からも、適正水準にあるものと認識する。経常収支比率は101.3%で、財政構造の弾力性に欠けており、行財政改革の着実な推進を願うところである。

決算額については、歳入歳出ともに前年度より大幅に増加しているが、郷土の恵みの森構想と学校耐震化の事業による影響が大きいものと認識している。

福祉施策において、妊婦健診の公費負担の充実、ブックスタート事業などの子育て支援の充実が図られたことを評価する。

災害時の避難場所となる学校施設の耐震化は、市民の安全・安心の確保のためにも、平成23年度の耐震化完了に向けて粛々と事業を進めていただきたい。

大変厳しい財政状況のなか、全体として、多様な市民要望に引き合い、適切に施策の展開を図ったものと認められ、賛成討論とする。

賛成

政和会

平成20年度は、あきる野市の「行財政改革元年」の年で、その基本方針は歳出の節減が主たる改革方針と認識している。決算書を検証した上では、大変厳しい財政状況の中で限られた予算を効率的に配分し、事業の成果をあげて来たことは評価するが、厳しい財政状況は今後も続くと思うので、市民に対する痛みわけは出来得る限り最小限に留める上からも、次の点について特に留意を要望しておく。

- 1 豊かな財政資源を有効かつ迅速に活用して新たな税収確保に努力されたい。
- 2 各種起債発行は出来得る限り抑制されたい。
- 3 市民が安心できる財政調整基金の積立金は、早めに健全化を図られたい。

これからも、最少の経費で最大の効果を上げるのが自治法の精神であると同時に行政の責務であることから、住民サービスを低下させないよう効率的な行財政運営を推進していただくことを要望して賛成討論とする。



決算特別委員会での採決